

## 【消費税変更対応／U-LINE Xtra】

総合振込の操作にあたり、「手数料／基準値の登録」を変更してください。

2019年10月の消費税変更に伴い税込後の振込手数料が変更になりますので、2019年10月1日(火)以降を指定日とした総合振込を行う場合は、事前に「手数料／基準値の登録」の変更を実施してください。

「U-LINE Xtra」をご利用のお客さまは、以下の手順にて設定をご変更ください。

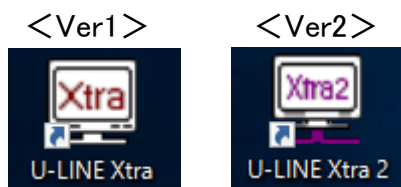
その他のEBソフト・専用機・自社システムにて振込データを作成されているお客さま(自社システムで振込データを作成し、U-LINE Xtraを利用してデータ送信されているお客さまも含まれます)は、必要に応じ各々の手数料／基準値をご変更ください。

### ■「手数料／基準値の登録」画面の設定変更手順【「U-LINE Xtra」の場合】

#### ソフトのバージョンの確認

U-LINE Xtraのバージョンによって振込手数料変更の操作が異なりますので、あらかじめ確認してください。

バージョンはデスクトップのショートカットアイコンでご確認いただけます。



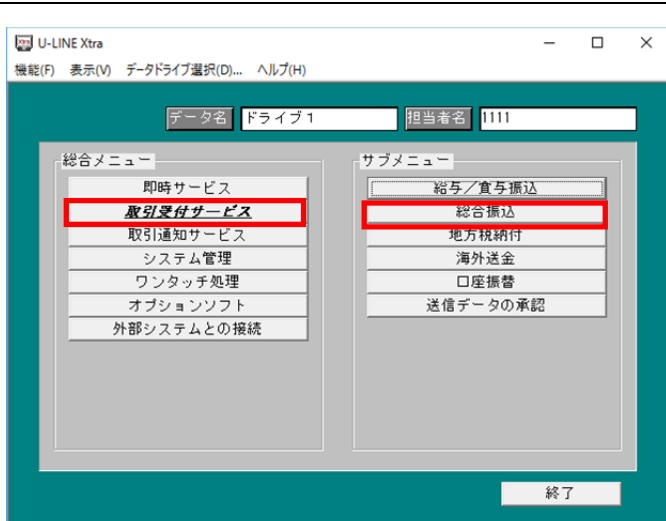
#### ■ Ver1/Ver2 共通

##### 1. 総合メニューで[取引受付サービス]を選択

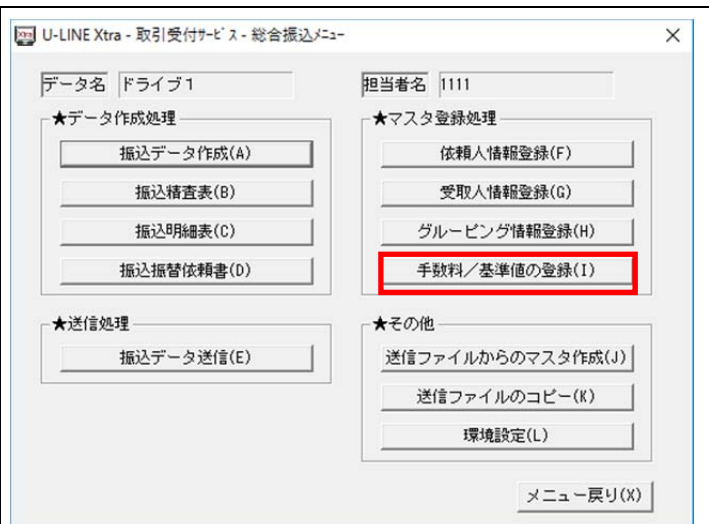
データドライブを複数ご利用のお客さまは、あらかじめ振込手数料を変更する「データドライブ」を選択してください。

(「データドライブ」の選択は、P5 または P8 参照。)

##### 2. サブメニューで[総合振込]を選択



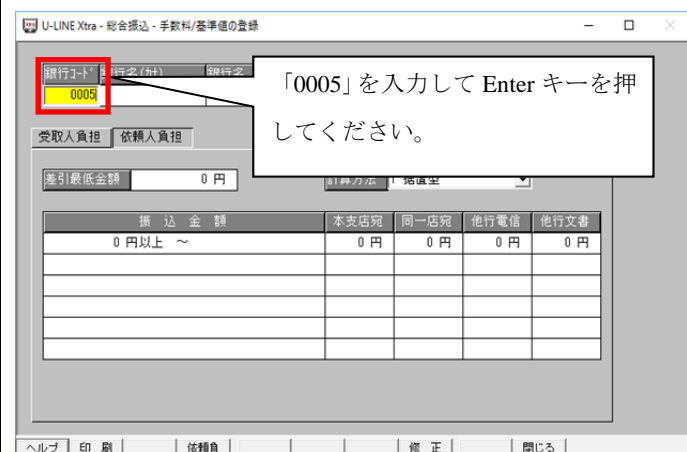
### 3. 総合振込画面で[手数料／基準値の登録]を選択



### 4. 手数料／基準値の登録画面で振込手数料の変更を行う銀行コードを入力

銀行コードは「0005」を入力して、Enter キーを押してください。

以降の操作は、ソフトのバージョンごとのページをご参照ください。  
Ver1 をご利用の場合、P3 参照。  
Ver2 をご利用の場合、P6 参照。



■ Ver1 をご利用の場合

5. 受取人負担の振込手数料を変更

受取人負担の手数料を変更します。  
 (初期値で、受取人負担が選択されていますので、確認してください。)

カーソルを[本支店宛][同一店宛][他行電信][他行文書]の振込手数料に移動し、消費税 10%で計算した金額に振込手数料を変更します。

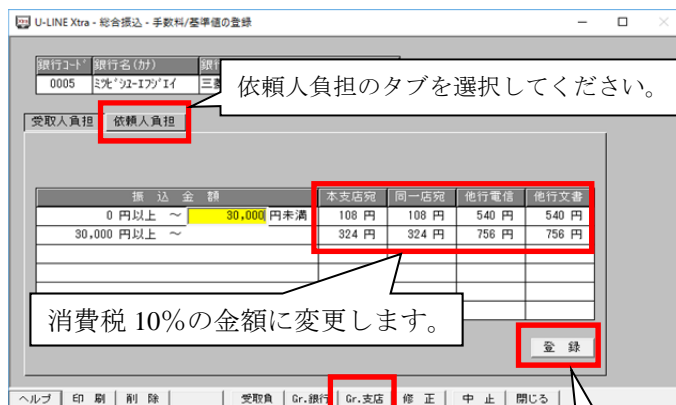
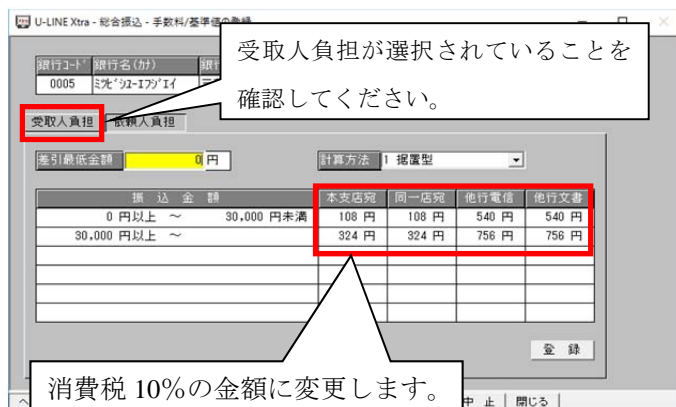
<例> 108 円 ⇒ 110 円  
 324 円 ⇒ 330 円  
 540 円 ⇒ 550 円  
 756 円 ⇒ 770 円

6. 依頼人負担の振込手数料を変更

次に、依頼人負担の振込手数料を変更します。

[依頼人負担]のタブを選択すると、依頼人負担の振込手数料が変更できます。

入力が完了したら、[登録]ボタンを押してください。



Gr.支店の設定があった場合は、今後は、ここで設定した振込手数料で振込手数料差引計算が行われます。

入力が完了したら [登録] ボタンを押してください。

## 7. 登録確認のメッセージが表示されます

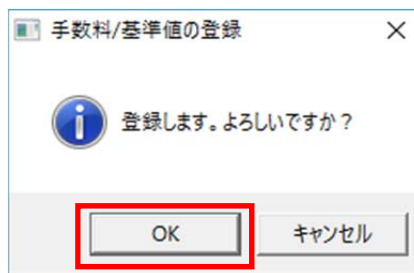
手数料／基準値の登録確認のメッセージが表示されますので、[OK]ボタンを押してください。

以上で当行の振込手数料の変更は完了です。

当行以外の振込手数料の変更を行う場合は、銀行コードを変更のうえ、項番4以降の操作を行ってください。

複数の「データドライブ」でご利用の場合は、全ての「データドライブ」で同様に変更操作を行ってください。

Gr. 支店の設定があった場合は、今後、ここで設定した振込手数料で振込手数料差引計算が行われます。



### 【ご注意】

すでに「作成済」の振込データには、変更後の振込手数料は反映されません。

変更後の振込手数料を反映するには、振込データの状態を「作成中」に戻した後、[確定]ボタンを押して「作成済」の状態にしてください。

操作方法については、「オペレーションマニュアル1」の 4-2-1-2 振込データの修正 をご参照ください。

### <データドライブの確認>

U-LINE Xtra の振込手数料は、データドライブ毎に設定されています。複数の「データドライブ」\*でご利用の場合は、「データドライブ」毎に振込手数料変更の操作を行う必要がありますので、あらかじめ、「データドライブ」の利用状況について、以下の手順で確認してください。

※複数契約を保有している等で、契約毎に振込先情報を分けて管理する場合に利用する機能です。

データドライブの利用状況は、[TOPメニュー]⇒[データドライブ選択]の手順で確認することができます。

番号	ドライブ名	データフォルダ
01	ドライブ1	C:\WPCBANK88\BANK01\WDA11\*
02	ドライブ2	C:\WPCBANK88\BANK01\WDA12\*

複数のデータドライブでご利用の場合は、データドライブの設定情報が複数行表示されます。

データドライブの選択を変更する場合は、該当のデータドライブの設定情報を選択してダブルクリックしてください。

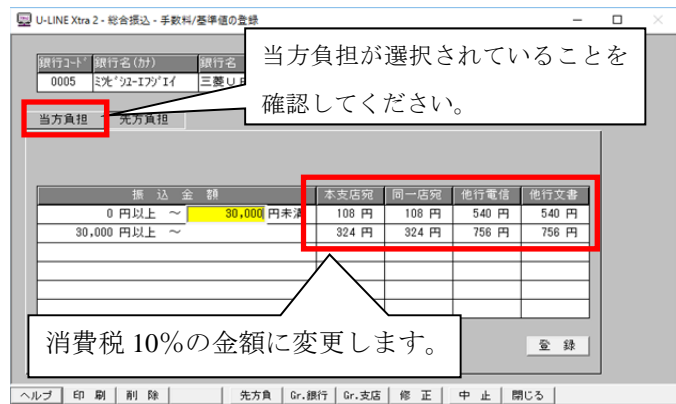
■ Ver2 をご利用の場合

5. 当方負担の振込手数料を変更

当方負担の手数料を変更します。  
 (初期値で、当方負担が選択されていますので、確認してください。)

カーソルを[本支店宛][同一店宛][他行電信][他行文書]の振込手数料に移動し、消費税 10%で計算した金額に振込手数料を変更します。

<例> 108 円 ⇒ 110 円  
 324 円 ⇒ 330 円  
 540 円 ⇒ 550 円  
 756 円 ⇒ 770 円

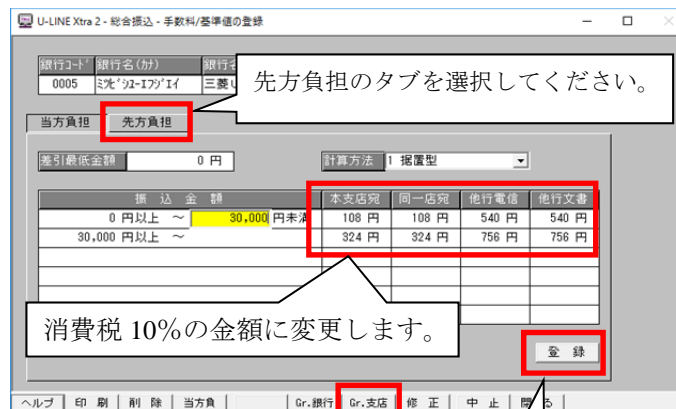


6. 先方負担の振込手数料を変更

次に、先方負担の振込手数料を変更します。

[先方負担]のタブを選択すると、先方負担の振込手数料が変更できます。

入力が完了したら、[登録]ボタンを押してください。



Gr.支店の設定があった場合は、今後、ここで設定した[振込手数料]で振込手数料差引計算が行われます。

入力が完了したら[登録]ボタンを押してください。

## 7. 登録確認のメッセージが表示されます

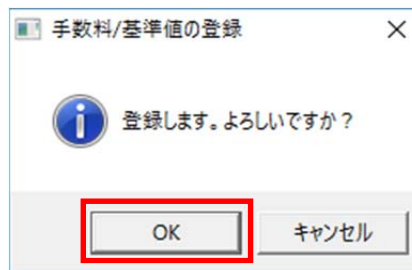
手数料／基準値の登録確認のメッセージが表示されますので、[OK]ボタンを押してください。

以上で当行の振込手数料の変更は完了です。

当行以外の振込手数料の変更を行う場合は、銀行コードを変更のうえ、項番4以降の操作を行ってください。

複数の「データドライブ」でご利用の場合は、全ての「データドライブ」で同様に変更操作を行ってください。

Gr. 支店の設定があった場合は、今後、ここで設定した振込手数料で振込手数料差引計算が行われます。



### 【ご注意】

すでに「作成済」の振込データには、変更後の振込手数料は反映されません。

変更後の振込手数料を反映するには、振込データの状態を「作成中」に戻した後、[確定]ボタンを押して「作成済」の状態にしてください。

操作方法については、「オペレーションマニュアル1」の 4-2-1-2 振込データの修正 をご参照ください。

### <データドライブの確認>

U-LINE Xtra の振込手数料は、データドライブ毎に設定されています。複数の「データドライブ」\*でご利用の場合は、「データドライブ」毎に振込手数料変更の操作を行う必要がありますので、あらかじめ、「データドライブ」の利用状況について、以下の手順で確認してください。

※複数契約を保有している等で、契約毎に振込先情報を分けて管理する場合に利用する機能です。

データドライブの利用状況は、[TOPメニュー]⇒[データドライブ選択]の手順で確認することができます。

項番	ドライブ名	データフォルダ
0001	ドライブ1	C:\Xtra\BANKSVS\DATA\#
0002	ドライブ2	C:\Xtra\BANKSVS\DATA\#

複数のデータドライブでご利用の場合は、データドライブの設定情報が複数行表示されます。

データドライブの選択を変更する場合は、該当のデータドライブの設定情報を選択してダブルクリックしてください。

### 【お問い合わせ先】

EB センター

フリーダイヤル **0120-781-906**  
〔午前9時～午後7時 ※土日・祝日・銀行休業日を除く〕